

	令和元年11月 農業委員会総会
1. 開会日時	令和元年11月25日(月) 9時00分
閉会日時	令和元年11月25日(月) 10時30分
2. 場 所	川棚町中央公民館講習室
3. 農業委員	1番 2番 3番 4番 5番 7番 8番 9番 11番 12番 13番
4. 最適化推進委員	14番 15番 16番 18番 19番 (欠席 6番 10番 17番) (遅刻 なし) (早退 なし)
5. 議事録署名人	3番 11番
6. 付議事件	なし
7. 協議事項	・ 人・農地プランの実質化について ・ 農業委員及び農地利用最適化推進委員
8. 報告事項	・ 行事報告
9. その他	

令和元年11月 農業委員会総会

事務局長

ただいまから、令和元年度11月の農業委員会を開催します。

(総会成立要件)
(過半数以上の出席)

「本日は〇〇委員・〇〇委員が欠席です。委員13名中11名の出席ですので、総会は成立している事をご報告します。また本日は推進委員5名にも出席いただいております。開会に当たりまして、会長からご挨拶をお願いします。」

会長

(挨拶)

「それでは報告事項の報告及び次回総会等の開催日の提案を事務局からお願いします。」

事務局

「それでは報告事項1番、11月の行事及び12月の予定についてご報告いたします。(各報告)」 「次回現地調査日を12月20日、総会開催日を12月25日とすることをご提案いたします。」また、総会後に例年どおり〇〇〇を開催したいと思しますので開催時間を16時としたいと思っておりますが、ご協議をお願いします。」

会長

「ただいま、事務局から次回の現地調査及び総会開催予定日の提案がありましたがいかがでしょうか。」

全委員

「異議なし」

会長

「それでは次回の現地調査の日程を12月20日、総会開催日を12月25日といたします。総会は16時開催といたします」
「次回の調査委員は〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員ですのでよろしくをお願いします。」

会長

「それでは、報告事項が終わりましたので、これより本日の会議を開きます。なお、議事に入ります前に議事録署名人を指名いたします。議事録署名人を〇〇委員と〇〇委員にお願いいたします。」

会長

「本日審議する議案の提出はなく協議事項が2件予定されてい

<p>会長</p>	<p>ますのでそれぞれの事案について協議お願いいたします。」</p> <p>「それでは、まず、協議事項1番 「人・農地プランの実質化について」を産業振興課農林水産係 ○○係長の説明していただきます。」</p>
<p>農林水産係長</p>	<p>「2ページをお開きください。</p> <p>協議事項1番、人・農地プランの実質化についてご説明を致します。</p> <p>現在の令和元年度から、国が人・農地プランの実質化の検証と実質化を進めて下さいと言う事になっています。本町では、8地区の野口、中山、五反田、小串、下組、新谷、石木、岩立で策定をして行きます。なぜ、この人・農地プランの実質化をして行かなければならないかと言うと昨年度で、農地中間管理機構への手続きの最初の5年契約が終了して、その見直しやその他もろもろの農政事業の国庫補助等を見直す時に制度改正をする場合に、飴として国庫補助事業の資料2ページの黒丸3ポツ目に書いてある、たとえば圃場整備、農業次世代人材投資事業、これは新規就農者に最大150万円、5年間の投資事業で、そのようなハード事業を採択要件にして、これにより農業者が資金を借りる際の要件などについて、地区で「人・農地プラン」の実質化がされていて、「人・農地プラン」の経営体のプランとしてその方々の名前が載っている事で補助金をあげましようと言うのが飴。</p> <p>ムチとして、実質化をしなさいと言う事です。実質化の要件として、主に3点ありまして、町、または農業委員会で対象地区の相当部分について概ね5年から10年後の農地利用に関するアンケートがされている事。</p> <p>2番目として、対象地区においてアンケート調査等により農業者の年齢階層別の就農や後継者の確保の状況が地図により把握(地図の作成)がされて、見える化がされていること。</p> <p>3番目が、対象地区を原則として集落毎に細分化し、5年から10年後に農地利用を担う中心経営体に関する方針を定めることとされています。これが要件となっております。</p> <p>本町におきましては、8地区において実質化を行う予定にしております。実質化をするにあたって、まず必要な要件をアンケート調査は、平成29年度に農業委員会が行っていますのでそちらの調査結果を用いて、1番と2番までの地図の作成まで農林係で行おうと思っております。その地図とデータを基に、地区で話し合いをしていく事になります。</p>

地域で話し合いをしてもらいたいと言う事で、4ページ以降に現在の「人・農地プラン」を38ページまで付けさせていますが、現在の物と、今から作成する地図を基に5年から10年後の農地利用を担う中心経営体について話し合いをしていきたいと思えます。また、現在の農地、水路の状況、担い手の状況などを受けて地域の農地を守っていくために何が必要なのか、何が課題なのかそのためには何をすればよいのかの方向について皆さんに良き提案をしてもらいます。それを担当される農業委員、農地利用推進委員を踏まえて地域の農業者の皆さん、実際に農業をされている皆さんも含めて意見を伺うという事を今後やって行く方向です。その話し合いの結果を受けて、先程の3番目の農地利用を担う中心経営体を定め、そのうちに起動修正をする「人・農地プラン」もありますので、中身をもう一度見直す、作り直すと言う事も伴って更新をしていく事になります。

「人・農地プラン」の実質化ですが、農地の貸し借りについては農地中間管理機構を使って推進しようと言う事ですので、A to Aという自分の土地を自分、自らが作付けしている場合でも農地中間管理機構を利用できるので、そちらもA to Aという形で契約して頂き、そこが将来耕作出来ないという時にいろいろまとめて、担い手に使いやすいように利用してもらおうなど、工事も含めて場合によっては圃場整備とかもできますので、農地中間管理事業を使って下さいという説明も合わせて話し合いの中でして、契約も進めて行きたいと思っております。

スケジュールになりますが、次の3ページ別紙3の参考様式の行程表は今、ホームページで公表いたしております。国の方針で来年度までに実質化をなさいたいという事ですので、予定で今年度が、〇〇地区、〇〇集落地区、来年度が6地区を2期に分けて進めて行きたいと思えます。行程表の中の①アンケートの実施が済んでいる。②が地図化による現況把握、③と④も一緒に整理をして実質化の進めて行くうえでの整理となっています。

なので、来年の1月～3月は〇〇と〇〇について農業者の皆さんと、農業委員にも集まって頂き、夜7時過ぎからの集会になるかと思えますが、こちらに出席いただきたいと考えています。

しかし、その前に一旦、どういう地図が出来ていて、どういう状況なのかを予め農業委員と推進委員にはお話をしたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

来年度につきましては、順次おこなって参ります。実際の話合いの時に皆さんの農業者の意見、こちらからの押し付けでは何

	<p>にもならないので皆さんの意見が出るようなかたちで解り易い資料を作ってご提案をできればと思っています。</p> <p>よろしくお願いします。「人・農地プランの実質化」についての説明は以上です。」</p>
会長	<p>「具体的な進め方の説明になりましたが、何か意見等ありませんか。」</p>
委員	<p>「12番、〇〇です。農地プランの資料で、前回記載されているのが、平成26年ですか、5年経っています。かなり前と現在では状況が変わっていると思いますが、そのあたりは見直しと言う事でしょうか。それは、ひとつひとつずつデータを作ると言う事でしょうか。」</p>
農林水産係長	<p>「これは、現行の物で、5年前の物ですので、中身のついては現時点に修正をするのは必要と思います。」</p>
委員	<p>「そうすると前に頂いたアンケートの様式など、調査票とかを各個人に配布する必要があるのではないかとそのあたりの準備をしていかなければならないと思われます。前回頂いた様式をコピーして配布されても空白が多かったり、ページ数が多かったりしていたので、コンパクトにまとめてないといけないと思いますし、後、農地の貸し借りについて、どの農地をどうするかとアンケートがありました。各個人については、高齢者もいますので番地等覚えていらっしやらないので、一覧表も必要ではないでしょうか。アンケートも具体的に、また簡素化していかなければならないと思います。アンケートのやり方をもう少しコンパクトにして、各個人に配布しなければいけないと思います。</p> <p>そのあたりをどうお考えでしょうか。」</p>
事務局	<p>「アンケートについては、26年に農業委員会から出していますが、その時々若干変わってきました。実際今、地図化をしていると言う事で、地図で75歳以上とかの人・農地の色分け作業をして状況をみてという事もありますし、これからどういった事でやっていくか、アンケートも必要でしょうが結局会合に来て頂いて地域をどう考えていくかも当然必要になるかと思ひます。</p> <p>アンケートの内容も該当地区の地域内や居住が町外の地域外の方もおられますので、話し合いに参加できない方々にも発信す</p>

事務局	<p>るものなのか、そういった事も踏まえて、内容も検討していきたいと思います。」</p>
農林水産係長	<p>「アンケートの結果は、平成29年度にしたものを使う予定にしています。2年前なので特別な急激な変化はないのかなと思いますので、それを使っていこうと考えています。</p> <p>アンケートですが、独自のので一人の農家さんが山の方に持っているのと、田の圃場整備されたものこちら辞めたいけど田は続けたいなど、一筆ごとの要望を執って行かなければいけないのかなと考えています。〇〇町では、一筆ごとに農家の意向を聞こうという事をするという話もあります。</p> <p>話が違いますが、中山間直払いというもので、平成28年度に12集落一緒になって合併したのですが、その時の筆ごとに、どうゆう風にされますか、自分で耕作ですか、後継者がしますか、農地中間管理機構に貸し出しますか、知り合いだったら貸しますか、と戦略法の資料を作成したのですが、これに似たようなものを作成しなくてはいけないのかなと私自身思っている所です。</p> <p>皆さんに地番と言ってもピンとこないなので、それを自由に色分けして、色分けできるようなベースでの地番と所有者を各地区で記入をして頂くようなものを私の頭の中で考えています。」</p>
会長	<p>「大変でしょうが、集落座談会などをやってみて、我々が現地調査の時に使用する図面を持っていき、反対にアンケートを取ってもわからない方がいらっしゃる場合もあると思いますので、そしてよく聞きながら、進めて行かなければいけないと思います。</p> <p>漏れがないように。」</p>
農林水産係長	<p>「一応、ここにスケジュールが示されておりますが、今年と令和3年1月まで大変でしょうがよろしくお願いします。」</p>
農林水産係長	<p>「実際、座談会に出席されない方については、アンケートが主流になるのかなと思っていますので、今までの付き合いの経験もお持ちなので、皆様のご協力をお願い致します。」</p>
会長	<p>「こうゆう話し合いは、農業委員と推進委員では話がむけないと思いますので、実行組合長等を通じてお願いをしながら話し合いをしていかなければと思います。」</p>

委員	「こういう活動があるという事を実行組合長に知って頂く必要があるので、協力をお願いしますという文書を配布しようという考えはありますか。」
会長	「年が明けたら、実行組合長会議がありますよね。」
農林水産係長	<p>「農協主催の会議が3月22日くらいにあります。」</p> <p>「実行組合長の半分ぐらいの方に協力いただき、2020年農業センサスの調査が来年当初からありますので、そちらも踏まえながら、また、文書を送付したから全部読んでいただけたかと言うとその人の自由なのでわかりませんが。何度かトライしながら理解して頂いていこうと思います。」</p>
委員	「一応、よろしくお願いします。」
委員	「実行長も年度始めの4月が入れ替わりなので、せっかく説明は受けたが、新しい組合長になって、引継ぎができなかったらまた大変なので、4月以降に説明、研修会等を踏まえ、会議をしたほうが良いと思われれます。」
事務局	「さしあたり、計画通りにやってみて、やってみないとわからないので。」
会長	<p>「たとえば、〇〇、〇〇地区は、1月から話し合いが始まるのですが、この間研修で皆さんがワークショップを行ったように、やって皆の意見を集約していく方法をしていかなければと思います。」</p> <p>「また、ここにA3用紙に全国農業新聞に〇〇県の〇〇村の方が掲載していますコラムをコピーして配布しておりますので、これも取組の参考にして頂ければと思います。」</p>
農林水産係長	「補足をお伝えします。人・農地プランで、今回8地区が対象ということですが、他に10数地区ありますが、大きな農地のある地区もありますが、耕作をしていない、認定農業者のいる地区もあるのですが、なかなか話し合いが難しく進まない地区、たとえば、〇〇、〇〇は、認定農業者が1名、1名の方をというのがほぼ無理で、厳しい現状です。町の全体のプランを本プラン、第2プランという方式も、他の町はやってはいますが、人・農地プラ

農林水産係長	<p>ンの人名を連ねると地区の方々の農業に関しての負担があまりにも大きすぎるので、補助金でお金を貰えない方々も出てきますので、再来年以降に考えて行きます。」</p>
委員	<p>「これは、中山間地域等直接支払交付金には直接関係ないのでしょ うか。」</p>
農林水産係長	<p>「はい、全く関係ないです。」</p>
会長	<p>「それでは、他に質疑など無いようですので、引き続き協議事項 2番 農業委員・農地利用最適化推進委員の任期満了について説 明をお願いします。」</p>
農林水産係長	<p>「39ページをお開き下さい。 協議事項2番、農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満 了について、農業委員は町で、農地利用最適化推進委員は農業委 員会で募集して専任するという事で、説明をさせていただきます。 平成29年の7月に任命及び委嘱を行った農業委員、農地利 用最適化推進委員の任期が令和2年7月に任期満了となります。 川棚町は、農業委員を募集し、農業委員会は農地利用最適化推 進委員を募集します。募集については、41ページの案に則り、進 めて行きます。任期については、同じで3年間です。 募集の内容は前回と変えておりません。推進募集は、今の所1 月の中頃から1ヶ月程度を予定しております。 40ページに改選スケジュールを載せております。 現在の農業委員・推進委員さんおかれましては、ぜひ来年から の3年間を再任でご検討いただきお願いしたいところです。よろ しくお願い致します。」</p>
会長	<p>「それでは、協議事項2号 について質疑をうけたいと思いま すが。皆さんに再任をお願いとの事ですが、なにか質問等ございま せんか。」 「特にありませんか。このことについては、一応了解があった言 う事で、皆さんよろしく申し上げます。」 なかったらその他について、事務局よりお願いします。」</p>
事務局	<p>「農業新聞の購読推進については、目標70部を2部上まわりま したことを報告いたします。ありがとうございました。」</p>

会長

「以上をもちまして令和元年11月の農業委員会総会を終了いたします。」

会 長

議事録署名人

議事録署名人